

月刊

ボランティアと、
地域活動の情報満載。

ボラナビ

2月号

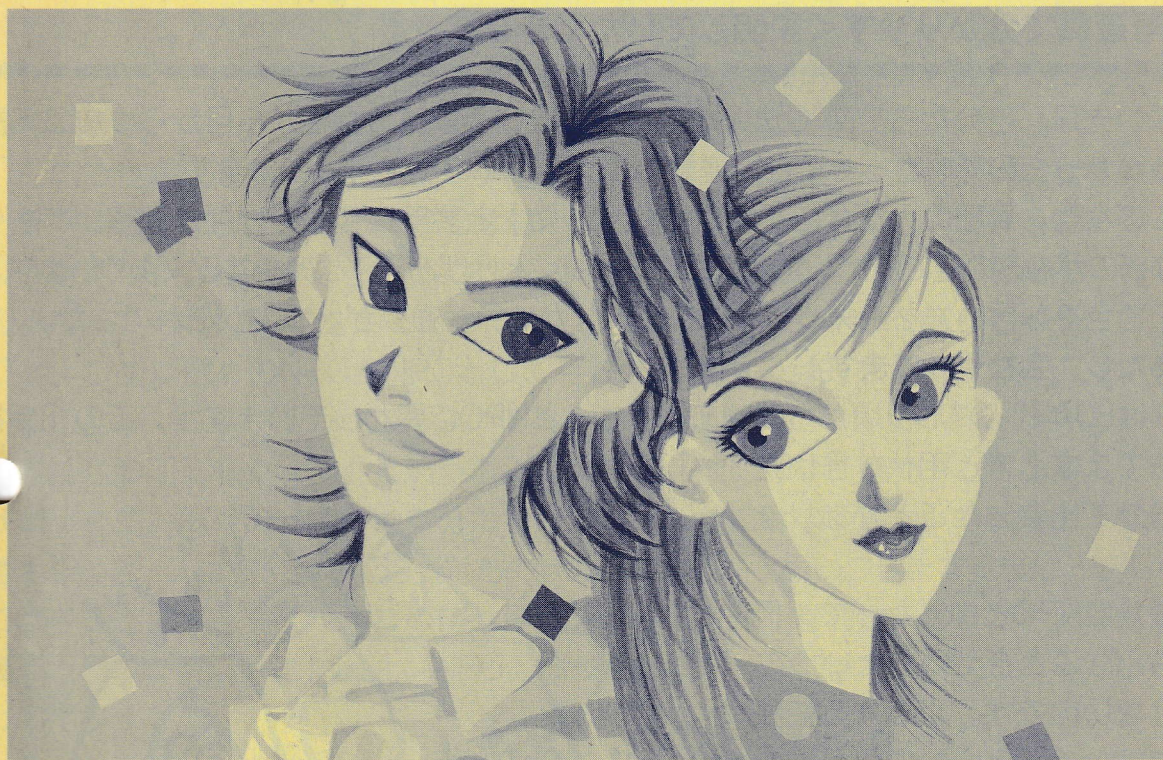
無料

● 月25日発行(第30号)

ボラナビとは

ボランティアナビゲーション(案内役)
を略した造語です。

今月の表紙は、料理するのが趣味という阿部夕希子さん(34)の作品です。阿部さんは、レストランでおいしい料理にめぐりあうと、家で再現してみるそうです。お気に入りにはエスニック料理。「インドやアラビア、南アフリカなどを旅行したときに買った香辛料を使う」という本格派です。



特集

あッ そうなんだ! NPO基礎講座

第1回

NPOのメッカ、サンフランシスコ訪問④

行政がNPOに助成



あッ そうなんだ! NPO基礎講座

第1回 「あたし、会社やってます」



NPOという言葉に、みなさんはもう慣れましたか? 「ボランティア」や「市民活動」のとらえかたも人それぞれなのに、新しい言葉がでてきて、とまどわれた方は多いのではないのでしょうか。98年12月にNPO法(特定非営利活動促進法)が施行され、ボラナビの誌面にもこの言葉がよく登場するようになりました。

NPOってなんでしょう。北海学園大学法学部の樽見弘紀助教授に、3号連載で分かりやすく説明していただきます。

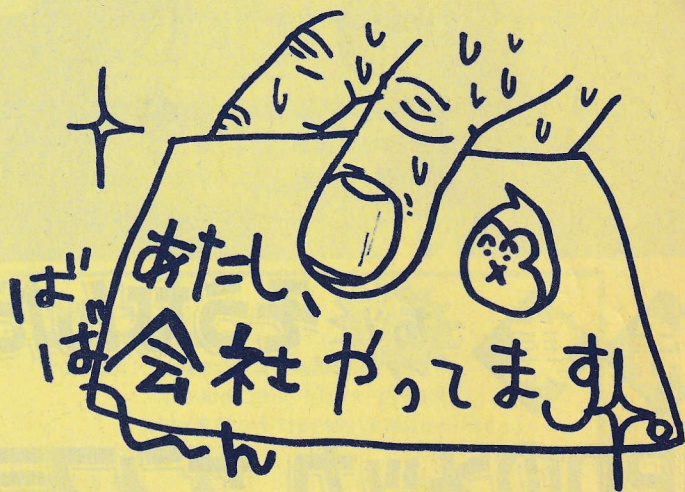
つい先日、自分たちでNPO法人をはじめたという釧路の女性から目からウロコの話を知ったので、さっそくこの連載の1回目をその話からはじめます。

この女性、周囲の人たちに「NPOをつくった」と説明してもなかなか理解してもらえないのが悩みの種でした。なかにはNPOと聞くとげんそうな顔をする人までいます。そこで色々な言い方を工夫してみました。なかで一番通りがいいのがこれでした。

「あたし、会社やってます」

僕は80年代の終わり頃から興味あってずっとNPOに関わっていますが、この「会社やってます」ほど明快な言い方にかつて出会ったことがありません。

確かにNPOといったって、何も特別なことをやろうというのではないのです。ようするに独りではなく、みんなで何かをやろうということ。NPOのOはオーガニゼーションのOですから、正確には「組織」や「団体」と訳すべきなのでしょう。でも会社といえはいえなくもありません。



ん。第一、「会社」といった方が、何かを企てる、はじめよう、やろう、って気持ちがよく伝わります。つまり、NPOは虚業じゃないんだ、実業なんだ、正業なんだというイメージにハッキリと聞こえます。

ただ、世間一般では「会社」といったときには株式会社や有限会社のことを真っ先に考える習慣があるようですね。株式会社や有限会社は名称こそ違えみんな「営利法人」といえます。そして、営利法人はどれも儲けを出すことを一番に考えます。どうしてかという、営利法人には「株主」という名前の出資者がいて、誠実な会社の経営者ならできるだけ多くの儲けをあげて出資してくれた株主にお返しをする、つまり配当を出すということをつねに経営の基本に据えるものです。

でも、「会社」のなかには儲けを出すことが一番じゃない会社だってあるんです。例えば、1998年12月にスタートしたNPO法（正確には特定非営利活動促進法）によってつくることが可能になった話題のNPO法人（同じく、正確には特定非営利活動法人）がそれです。

あなたはもうNPOのOの意味を知っていますから、ついでにNPの意味。これは、ノン・プロフィットの頭文字でして「非営利」という意味。NPO全体では「非営利組織」となります。

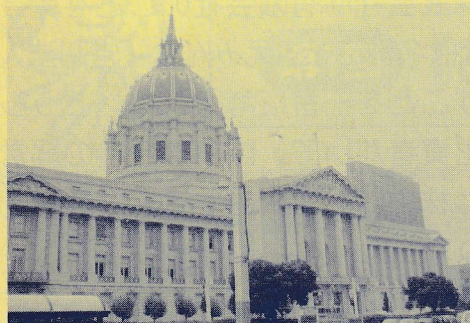
ここで注意。そうか、営利法人が儲ける会社で、NPO法人が儲けない会社なのか、と早合点してはいけません。NPOは儲けない会社なんじゃなくて、儲けることを一番には考えない会社です（ということは、NPOは儲けてもいい！）。なら何を一番に考えるのか、それはNPOを創るために集まったメンバーがNPOを創ってやろうとしたこと、つまり個々のNPOがNPOとして存在する理由や目的を実現させることです。このことを、ちょっとカッコをつけてミッションと呼んだりします。

僕はこの「ミッション」という言葉を勝手に「他にはない魅力」と言い換えることができます。既存の会社では自分たちが考える「他にはない魅力」を実現できないと考えるとき、人は自分たちで自分たちの会社をやろう、と思いつきます。また、その「他にはない魅力」を実現するためには儲けを一番に考える営利法人のかたちでは無理があると思うとき、人はたとえばNPOといった儲けを一番には考えないしくみがいい、と判断します。

自分たちの会社をやろうということ、そしてしかもそれを営利法人ではなくNPOでやろうということは、いってみればそれだけのことです。それだけのことなんですが、逆にいうと、NPOをつくるということは、株式会社をはじめると同じくらい大変だともいえます。決断の重さ、実行の大変さ、そして達成したときの喜びという点では、営利法人もNPOもそれほど違いはありません。両方とも「会社をやる」というリアルな体験なのです。（つづく）

NPOのメッカ、サンフランシスコ訪問④

行政がNPOに助成



さまざまな分野で活躍する日本のNPO。行政の助成を希望する団体は多いのですが実現例はあまりありません。サンフランシスコ市は、地域にあった形で費用を捻出し、芸術活動団体に助成をしています。

◀サンフランシスコ市役所。マリリン・モンローを含む多くの人が結婚式をあげている会場としても有名。

サンフランシスコ市は、芸術に関する活動をしているNPOに毎年助成しています。99年度は、200以上の団体に合計1100万ドル(12億円)を交付しました。助成を受けた団体は、ダンス、演劇、映画、音楽など幅広い芸術分野にわたっています。

助成を受ける団体の条件は、2年以上の活動実績があること、活動拠点がサンフランシスコにあること、個人で活動しているものではないこと、一般の人を対象に活動していることなどです。審査や助成金の管理をしているのは、市役所内に事務所を構える「グランツフォアアーツ(芸術のための助成)」というNPO。こことは別に、申請に落ちてしまった団体が不服を申し立てる苦情処理会があります。

この助成金の出どころは、サンフランシスコ市内のホテルに泊まった人が払う税金、ホテル税でした！サンフランシスコは、芸術鑑賞を目的に訪れる人が多い街です。そこで市は、芸術活動をしている団体を支援することで、地域の芸術活動がより活発になり、観光客が増えることを期待しています。

この助成制度を作る際、市民から反対の声は少なかったそうです。「市民にとっても、地域の芸術レベルが上がるのは誇りです。なんといっても自分たちが払う税金ではなく、主外から来た人が払うホテル税が使われているので、不満に感じなかったようです」(グランツフォアアーツのジュアン・ドミンゴズさん)。

この助成は40年前、市長のアイデアで始まりました。助成年数に期限がないため、同じ団体に継続的に払われている例が多く、助成先の5~7割を占めています。続けて助成することで、団体が安心して活動に専念できるようにしています。

サンフランシスコのホテル税は14パーセント。ホテル料金は他の街に比べて高めです。でも理由を聞いて納得し、「じゃあ、せっかくだからオペラでも見ていこうかな」という方も多いかもしれません。



グランツフォアアーツのRaneeさん(左)とJuanさん。

北区でも、地域のグループに助成しています。

札幌の北区役所では区民の自主的なまちづくり活動を支援するため、平成10年から毎年「北区まちづくり活動コンテスト」を開催しています。

去年6月、北区民センターで行われた第3回目のコンテストには、北区を拠点に活動している12のボランティアグループが応募、参加しました。前年度に続いて申請したところが7団体、初めてのところが5団体です。それぞれが、大学の先生やフリーライターさんなどで構成されている審査団と観客の前で、順番に4分ずつ活動を発表します。

質疑応答や交流のあと、いよいよ助成金をもらえる団体の結果発表です。「全ての団体に助成金が交付される」という審査団の言葉に、みんな大喜びしていました。それぞれに、最高30万円が払われました。

北区でボラナビを発行したり、集いを開催したりしているボラナビ倶楽部も、このコンテストに第一回目から参加しています。一回目はボラナビを創刊した年。いただいたお金を印刷費にあてることができて大助かりでした。



ボラナビ倶楽部も、創刊経緯、活動して嬉しいこと、大変なことを率直に発表しました。

このコンテストの参加団体は、活動をPRすることで資金がもらえるのはもちろん、地域の人々の理解や協力を得られ、他の団体と交流することもできます。地域の人にとっては、身近なボランティア団体を知って自分も参加したり、サービスを受けたりするきっかけになります。行政にとっては、地域を豊かにするNPOに、地域の人々の意見を反映して助成することができます。こうしたNPO団体を支援する取り組みは、他の区でも始まっています。

北区まちづくり活動コンテストのことは、北区役所のホームページ

<http://www.city.sapporo.jp/kitaku/>

にでています。問い合わせ先は、

北区役所市民部総務企画課 TEL 011-757-2400 です。

第3回目の北区まちづくり活動コンテストに参加した団体

- 「新琴似六番通り街づくりクラブ」
- 「地域を花でいっぱいにする会」
- 「まちづくり仲良し会」
- 「ホッとしのろ21」
- 「循環(くるくる)ネットワーク北海道」
- 「ボラナビ倶楽部」
- 「ボランティア展実行委員会」
- 「北区の歴史と文化財学習会」
- 「拓北の森たんけん隊」
- 「北海道札幌拓北高等学校理科研究部」
- 「北区ジュニア農業体験クラブ実行委員会」
- 「ふらっくす倶楽部」





ボラナビでは、今、4月号に掲載する情報を集めています。2月25日までに、最終ページにあるボラナビの宛先までお寄せください。

※春はボランティアさんが卒業・就職などで入れかわる時期です。この頃に合わせてボ集したい方もお早目に！

イラスト：タケダミヲ

常時

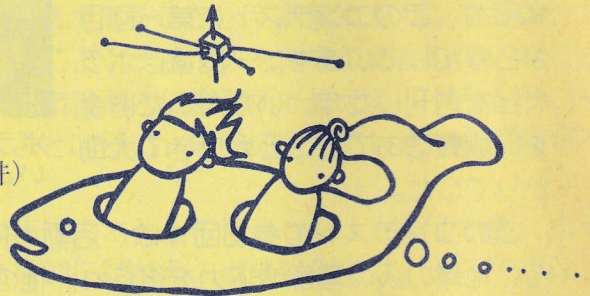
通院をサポートする有償ボランティア ボ集

●**内容**：サポート24は、人工透析者および高齢者・障害者など、介助が必要な方々に対して病院への行き帰りをサポートしているボランティア団体です。車をお持ちで、運転に3年以上の経験があり、任意保険に加入されていて、1日2回以上の送迎が可能な方をボ集しています。活動費として1回500円、交通費実費をお支払いいたします。年齢・性別は問いません。特に東区か北区にお住まいの方は大歓迎です。

どうぞよろしく願いいたします。

●**日時**：月～土曜（詳しくは応相談）

●**問い合わせ**：NPO法人 サポート24
バンビ送迎サービス（担当：高井）
TEL/FAX 011-666-2383



常時

一芸ボランティアの冊子に掲載OKなボラさん&一緒に冊子を作ってくれる人 ボ集

●**内容**：高齢者や障害者の方に「一芸」を披露して楽しんでいただく一芸ボランティア、この内容や連絡先などを一覧にまとめた冊子を作成することになりました。そこで、この冊子に「掲載してもいいよ」という一芸ボランティアさんを大ボ集。個人でも団体でもかまいません。趣味でやっているマジックや琴、踊り、絵画、陶芸、パソコンなどなど、さまざまなことが一芸ボランティアになると思います（例えば保険の外交員さんが保険についてのお話をしたりと、仕事での経験や知識を生かしていただいてもよいです）。営利目的の方はお断りさせていただきます。また、この冊子と一緒に作ってくれる人もボ集。情報集めや、冊子の配布、各施設や団体で活用していただくためのお願いなど、行動範囲が広がる可能性もありますので、自家用車をお持ちの方だと大変ありがたいです。私自身、学生の身なので、たくさんの方のお力が必要だと感じております。皆さん、どうぞよろしく願いいたします。

●**配布先**：小中学校、幼稚園、保育園、老人施設、障害者施設、各役所、病院、自治体や公的団体など（※発行は3月末を予定）。

●**連絡先**：ボランティアサークルぼらびねっと（代表：松浦朝太郎、受付：木村範博）

FAX011-801-4978 携帯090-9513-5689（木村） E-mail：voluvinet@mail.goo.ne.jp

常時

車での送迎・日常生活のお手伝いボランティア 募集

●**内容**：内城百合（ないじょうゆり）さん（44歳）は、脳性マヒという障害で、車椅子を使用し一人暮らしをしています。そこで、日常生活のお手伝いをしてくださる方（女性）と、宮の森にある自宅から手稲区まで車で送迎してくださる方を募集しています。

①送迎は、「アンビシャス」（手稲区西宮の沢6条2丁目344番地68 市営住宅斜め向かい）という作業所まで、月・水・金の週3回、車で送り迎えをしてくださる方（送り迎えどちらかだけでもかまいません）。②日常生活の介助と、夕食作りをしてくださる方。③朝のゴミ出しと片付けをしてくださる方。

年齢や経験は問いません。難しいことはありませんので、気軽にやっていただけたらと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

●**時間**：①送り／9：00～10：00に自宅へ、迎え／15：00にアンビシャスへ ②月・水・金のうちの16：00～18：00 ③火曜日の8：00～9：00

●**場所**：中央区宮の森4条5丁目（地下鉄西28丁目駅から徒歩15分）

●**連絡先**：携帯 070-5065-9470（片桐）、FAX011-642-6437

●**備考**：交通費はお支払いいたしますが、万が一の事故に備えて、ボランティア保険に加入していただきます（年間300円）

~3/31

文庫活動や学童保育をされている方に、古くなった絵本をさしあげます

●**内容**：絵本の専門店「ぶっくはうす りとるわん」では、文庫活動や学童保育の活動をされている方に、古い絵本などを差し上げる計画をたてています。興味のある方はご連絡いただければ、詳細をお伝えいたします。ご連絡は、ファックスかはがき、メールでお願いいたします。りとるわんは、お店の隣りにホールを持っています。子育てサークルなど、営利目的でない方には無料で貸し出しています。また、毎月子どもからおとなまで楽しめる催しを開催しています。先日はプロを招いて、ピアノ・ヴァイオリン・チェロの生演奏で「映画音楽とタンゴの夕べ」を開催しました。心の豊かさを求めて、仲間同志でわいわいやっています。

●**連絡先**：ぶっくはうす りとるわん内 文庫係

〒003-0024 白石区本郷通6丁目南2-1 FAX011-860-1325

E-mail：tenshu@little-one.co.jp 締め切り：3月31日（土）

思っように
介護
できない
のは
その
部屋の
せい
だったん
です。

一級建築士・福祉のまちづくりサポーター 米木英雄 著

在宅介護時代の
家づくり・部屋づくり

超高齢社会を豊かに暮らす

各紙誌
総覧



定価1470円（税込）

なにわ書房・リーブルなにわ・アテネ書房をはじめ
市内主要書店で好評発売中！
店頭がない場合は、直接寿郎社までお申し込み下さい。

寿郎社 TEL011-223-5751 FAX011-223-5752
〒060-0001 中央区北1西2山京ビル E-mail:jyurousya@tkcnet.ne.jp

常時**不登校や高校中退の若者たちへの学習支援ボランティア 募集**

●**内容**：オルタナティブスクール札幌自由が丘学園は、不登校（登校拒否）の子どもたちや高校を中退した若者たち、通信制高校の生徒たちの、安心できる居場所であり、学び舎です。高校を中退して、現在頑張って勉強している若者たちへ、個別に学習指導をしてくださる方を募集しています。交通費を含めて1日1000円程度しかお支払いできませんが、若くて元気のよい方をお待ちしています。性別は問いません。どうぞよろしく願いいたします。札幌自由が丘学園は、認可の学校ではない「フリースクール」ですが、現在アメリカをはじめとする先進諸国で大きな流れになりつつある「オルタナティブスクール（独自の教育理念と方法を持つ学び舎）」です。

●**日時**：応相談

●**場所**：北区北16条西4丁目21 札幌自由が丘学園

●**連絡先**：TEL011-736-5345 FAX011-736-5755（担当：亀貝、杉野）

3/10・11**子どもと一緒に遊んでくれるイベントスタッフ&医療スタッフ 募集**

●**内容**：3月に深川で開催する「ふれあいスノーフェスティバル2001」では、子どもたちと一緒に元気に遊んでくださる高校生以上の方を募集しています。これは、「ハンディがある子もいない子と一緒に雪の中でおなかいっぱい遊ぼうよ!」という考えのもとに行われる1泊2日のイベントです。札幌・深川間の移動も含めて2日間の参加、もしくは日帰りもOKですので、どうぞよろしく願いいたします。説明会を行いますので、詳しくはお問い合わせください。また、医療スタッフ（医師・看護婦・看護師）と、イベントに参加を希望されるお子さんも募集しています。

●**日時**：3月10日（土）・11日（日）

●**場所**：北海道青年の家（深川市音江町）

●**問い合わせ先**：ふれあいスノーフェスティバル2001 実行委員会

E-mail：onakaippai@hotmail.com

（できる限りメールでお願い致します）

携帯 070-5605-7542（ふれあい実行委員会）

ホームページ：http://www.kita-nikkan.co.jp

（リンクあり）



常時**世界各国へ送る救援物資 ボ集**

●**内容**：NGO ロジスティックス・センターは、救援物資などの荷物を原価で輸送する新しい海外輸送の NGO(Non-Governmental Organization：政府から自立した組織として、一般市民が国境と国籍の違いを乗り越えて自発的に参加・運営する国際協力団体)です。共に生きる地球市民社会の実現を支援しようと、2000年1月に設立されました。全米引越協会(HHGFAA)や米国輸送保管協会(AMSA)といったグローバルなネットワークを生かして、世界の隅々まで救援物資をお届けしています。現在、ブルガリアへ古着を送るための準備を進めています。そこで、自宅に眠っている洋服や会社の制服、生活日用品などをボ集しています。その他、海外へ物資を送りたいとお考えの方は、どうぞ気軽にお問い合わせください。

●**問い合わせ先**：NGO ロジスティックス・センター

・仙台本部 〒980-0811 宮城県仙台市青葉区一番町 1-12-39-303

TEL 022-723-2367 FAX 022-723-2393

・東京支部 〒104-0033 東京都中央区新川 2-11-1-511

E-mail：ngolcjp@vesta.ocn.ne.jp

ホームページ：http://www.welcome-sendai.net/NGOlogistics

常時**販売ボランティア ボ集**

●**内容**：心身に障害を持つ方々が作成したさまざまな製品を販売している店「テルベ」では、販売員のボランティアさんをボ集しています。1日3交代制で、各4時間です。どうぞよろしく願いいたします。

●**時間**：第1クール／9：30～13：30、第2クール／13：30～17：30、
第3クール／17：30～21：30（それぞれのクールを1名で担当）

●**場所**：イトーヨーカ堂エスパ福住店 3F（豊平区福住2条1丁目2-5）

●**備考**：交通費として1日1,000円支給します。

●**問い合わせ先**：北海道社会福祉協議会 授産事業振興センター

TEL 011-241-3978 FAX 011-271-1977

常時**入院患者さんや家族をお手伝いする病院ボランティア ボ集**

●**内容**：NTT 東日本札幌病院では、患者さまやご家族の気持ちを和らげ、明るく爽やかな生活を送っていただけるよう、病院ボランティア活動を平成12年8月からスタートしました。平日、午前中は総合案内、午後は入退院のお手伝い、図書入れ替え、小児科病棟での本読みなどの活動をしています。特別な資格は必要ありません。多くの方々の参加をお待ちしています。

●**日時**：個別に調整（応相談）

●**場所**：NTT 東日本札幌病院（中央区南1条西15丁目）地下鉄東西線「西18丁目駅」5番出口から徒歩約5分、もしくは市電「西15丁目」停から徒歩約1分

●**問い合わせ先**：NTT 東日本札幌病院 TEL 011-623-8301（担当：看護副部長 岩川ヒサ）

常時**入院患者のつきそい家族を支援する「ファミリーハウス」を応援してください**

●**内容**：「北海道ファミリーハウス」は、小児がんなどの重い病気で自宅から離れ、専門病院で治療を受ける患者さんの家族が安心して滞在できる宿泊施設を作ろうと支援するボランティア団体です。平成12年11月に発足しました。病気の家族をかかえた人にとって、治療費のほかにかかる滞在費は、経済的にも精神的にも大きな負担です。道内では、北海道難病センターの宿泊施設や、一部の民間施設が安く宿を提供していますが、まだ充分ではありません。北海道ファミリーハウスでは、独立した施設の設立を目標にしていますが、現在は施設を安く提供してくれる人たちと連絡を取り合って、患者さんの家族に紹介しているところです。運営と活動に参加して下さる方と、資金援助をして下さる方を会員としてポ集めています。事務所に入会申し込み書もありますので、詳しくはお問い合わせください。どうぞよろしくお願いいたします。

●**問い合わせ**：北海道ファミリーハウス事務局 中央区北5条西6丁目1-23第2道通ビル610号
FAX 011-242-9151 (事務局長 松宮)

※電話は留守電になっていることが多いのでFAXでお願いいたします。

●**会費**：<正会員一口当たり年額>個人2000円、法人10000円
<賛助会員一口当たり年額>1000円

●**振り込み先**：北洋銀行本店 普通預金 028-1926254
(北海道ファミリーハウス 理事長 山本克郎)
郵便局 02750-0-32974 (北海道ファミリーハウス)

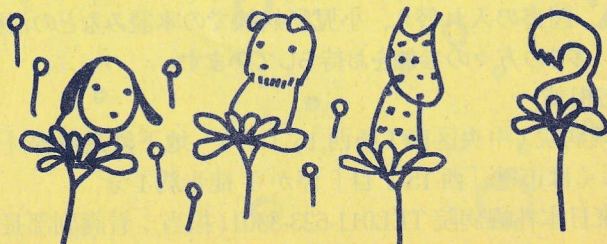
常時**犬を保健所から保護する活動を応援してください**

●**内容**：A&P (Animal & People) 犬の命と権利を考える会では、保健所で処分されてしまう犬を保護して里親さんを探す活動をしています。平成12年12月より動物愛護法が改定されたのを機に、動物に対するモラルが向上することを期待していますが、日本ではまだ理解が低いのが現状です。犬たちは保護してから、里親さんの家へ行くまでの数週間で、表情が大きく変わります。ちゃんと感情をもっているのです。とてもやりがいのあるボランティアですが、人材、資金ともに不足しています。みなさんのご協力をお願いいたします。

●**募集**：<ボランティア会員>犬の世話や、その他の活動支援 <援助会員>資金援助 年会費5000円 <一時あずかり>里親が見つかるまでの間、一時的に犬をあずかっていただけるご家庭 (詳細はお問い合わせください)

●**郵便振替口座**：19020-29297211 (A & P) ※備考欄に「入会希望」とご記入ください。

●**問い合わせ先**：A&P (Animal & People) 犬の命と権利を考える会
(APCからわかりやすくA&Pに名前が変わりました)
TEL011-885-7398 携帯070-5608-8623 (五宝)



2/18**「もっとすてきにレクリエーション」開催**

●**内容**：札幌レクリエーション協会では、福祉やレクリエーションに関する講習会を開催し、福祉分野におけるレクリエーション活動の実践をはかっています。地域活動やボランティア活動において、必要不可欠なのが対象者と利用者のコミュニケーションづくりです。そこで、子どもから高齢者まで、世代を越えたコミュニケーション手段としてのレクリエーションをご紹介します。個人やサークルなどの余暇活動の一環としても活用いただける内容です。レクリエーションゲームやレクリエーションソング、レクリエーションダンス、グループワーク、遊びリテーションなどを行います。上靴を持参のうえ、運動のしやすい服装でご参加ください。

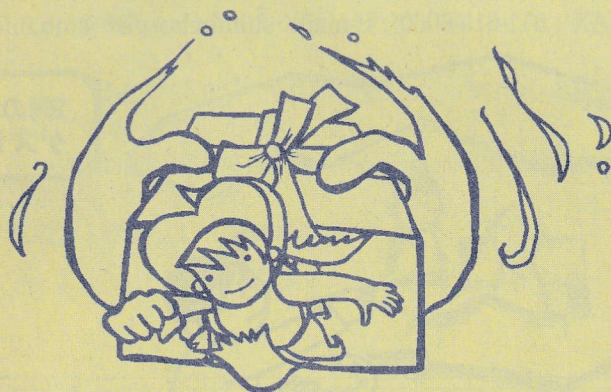
●**日時**：2月18日（日）13：00～17：00（受付12：30～）

●**場所**：ちえりあ4F体育館（西区宮の沢1条1丁目1-10 地下鉄東西線宮の沢駅直結）

●**参加費**：2000円

●**申し込み方法**：はがきまたはファックスに、郵便番号・住所・氏名・電話番号を記入のうえ、2月16日（定員30名になり次第締切り）までにお申し込み下さい。

●**問い合わせ先**：〒063-0034 西区西野4条3丁目9-38札幌レクリエーション協会 南部広司
FAX011-665-1399（問い合わせはファックスのみ。電話は不可）

**2/24****札幌市ボランティア連絡協議会 研修会**

●**内容**：各区ボランティア連絡会会員とボランティアに関心のある方を対象に研修会を開催します。

●**日時**：2月24日（土）10：00～15：00

●**場所**：札幌市社会福祉総合センター 大研修室ほか（中央区大通西19丁目1-1）

●**詳細**：（1）分科会（①～⑤の中からお選びください）

①『施設から見たボランティアの受入れについて』②『音楽療法の実践について』③『子育て支援について』④『介護保険の問題点について』⑤『ボランティア井戸端会議』

（2）講演会 講師：松永俊之氏（HBCラジオアナウンサー） 演題：「心のふれあい」

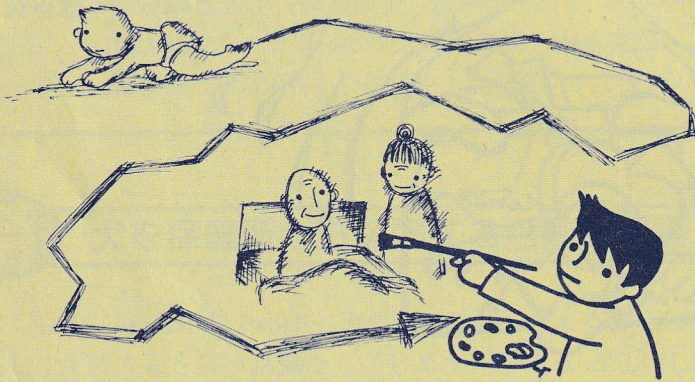
●**参加費**：500円（昼食代含む）

●**問い合わせ／お申し込み**：各区社会福祉協議会または札幌市ボランティア研修センターへ電話でお申し込みください。締切りは2月9日（金）です。

札幌市ボランティア研修センター TEL011-223-6005

2/24**「市民と共に創るホスピスケア講座」シリーズ23
第86回受講生募集**

- 内容**：「市民と共に創るホスピスケアの会」では、毎月1回、3カ月を1シリーズとして、医療関係者や福祉関係者、患者、家族の方々などを講師に迎えて市民講座を開催しています。会員は全員ボランティアで、「望ましい医療と福祉は、受け手と担い手が対等に協力し合うことでしか実現しない」という信念のもとに活動しています。人生の締めくくりを迎えた人が、最後まで自分らしくありたいと思うささやかな願いの実現を目指しています。皆様の参加をお待ちしています。
- 日時**：2月24日（土）18：30～20：00（質疑応答含む）
- 場所**：かでの2・7 4階大会議室（中央区北2条西7丁目）
- テーマ**：「告知とインフォームドコンセント」—その人と共に生きるために—
- 講師**：旭川厚生病院 消化器科主任部長 大田人可氏
- 受講料**：会員・学生500円、一般1000円（会場にて受け付け）
- 申し込み方法**：郵便番号・住所・氏名・電話番号、会員 or 学生 or 一般を明記して、はがきかファックス、またはE-mailで送ってください。こちらから受講はがきを発送します。締切りは2月17日（土）、それ以降は電話でご確認ください。
- 問い合わせ先**：「市民と共に創るホスピスケアの会」事務局
〒060-0061 中央区南1条西16丁目1-245 レーベンビル3F
TEL/FAX 011-615-6060 E-mail：shimin-hospice@mb.infosnow.ne.jp



2月のボラナビの集いの
ゲストスピーカーです。

2/25**環境共生住宅を考えるエコロジー建材セミナー 開催**

- 内容**：藻岩下エコビレッジ計画実行委員会では、地球環境や地域環境を考えた、エコロジカルな建材を紹介するセミナーを開催します。現在、シックハウス症候群の原因とも言われている住宅建材ですが、最近ではエコロジカルな建材も数多く普及しています。住宅内部だけではなく、地域環境までも考えた建材を紹介しますので、実際に見てさわって確かめてください。ドイツのエコビレッジの実例もスライドでご紹介いたします。そこでは、エコロジカルな建材がさまざまな手法で取り入れられ、エコロジカルな生活が営まれています。また、藻岩下で進行しているエコビレッジの計画もご紹介いたします。住まいについて考えている方も、エコビレッジに興味のある方も、どうぞお気軽にご参加ください。
- 日時**：2月25日（日）13：00～15：30
- 場所**：北海道環境サポートセンター（北区北7条西5丁目）
- 参加費**：無料、直接会場においでください。
- 問い合わせ先**：西條インテリアデザイン内 藻岩下エコビレッジ計画実行委員会
TEL011-774-8599

3月・4月

デンマーク「風のがっこう」研修ツアー2001

●**内容**：(財)北海道環境財団とエコ・ネットワークでは、再生可能エネルギー導入の成功が世界から注目を浴びているデンマークを訪問し、風力発電やバイオマスエネルギー施設といった関連施設を実際に見学しながら、同国の環境・エネルギー政策やその背景を学ぶ研修ツアーを企画しています。30年以上前に日本からデンマークへ移住し、現在自然エネルギー導入のコンサルタントとして活躍していらっしゃるケンジ・ステファン・スズキさんが主催する「風のがっこう」に4日間滞在し、ここを拠点にさまざまな施設を見学します。エコ・ネットワークの小川巖さんらが同行コーディネーターとして参加する予定です。また、コペンハーゲン等で計1日程度の自由時間も設ける予定です。ぜひご参加ください。

●**日時**：2001年3月7日(水)～14日(水)、4月1日(日)～4月8日(日)

(新千歳空港発着 KLMオランダ航空利用)

●**訪問先**：デンマークの環境・エネルギー関係施設等

●**参加費用**：288,000円(2名1室・エコノミークラスを利用)

●**募集人数**：各回15名(最少催行各回10名)、3月出発の締切は2月3日(土)、
4月出発の締切は2月20日(火)※定員になり次第締め切り

●**問い合わせ・申し込み先**：エコ・ネットワーク 札幌市北区北9西4エルムビル8F

TEL 011-737-7841 FAX 011-737-9606 E-mail: eco@hokkai.or.jp

※問い合わせいただければ、詳しい案内と申込書をお届けします。

●**注意**：

- (1) 本ツアーは旅行会社による主催旅行ではありません。旅程の手配はJTBが行いますが、旅行中は参加者の責任で行動していただくこととなります。
- (2) 本企画は目的を持った研修旅行です。風のがっこう滞在中は団体行動となります。また、観光地等の訪問は予定していません。
- (3) 3月と4月の見学施設・訪問先は一部異なります。

12月の集い

12月のボラナビの集いは、動物の権利を守る活動をしていらっしゃるNPO法人アニマルライツセンター北海道支部の皆さんをお迎えしました。

アニマルライツセンター(以下、ARC)は、「動物実験や非論理的殺害、虐待、遺棄をなくし、動物たちと穏やかに共存できる社会を！」を趣旨に、これまで雲仙普賢岳や阪神大震災、有珠山や三宅島噴火などの自然災害時、現地で被災動物たちの救済を行ってきました。

お話は、有珠山噴火の際のエピソードが中心でした。飼い主が避難をする時に連れていけない犬や猫などに食事を与えるため、立ち入り禁止区域へ入り、ひとり数十キロものリュックサックを背負って山道を歩いたこと、衰弱して死にかけていた動物たちの様子、その時警察や役場から「入ってはダメだ」と言われながら、半ば強行突破で行ったことなど、すべての話が印象的でした。

また、その直後に噴火が起こった三宅島では、数百頭もの犬や猫が島に取り残されたといえます。一部救済した動物たちは動物病院などにいますが、まだすべてではありません。ARCでは、被災動物の救済シェルターを作ったり、救済資金募金活動を行ったり、みんなに理解を呼びかける啓発運動をしたりと、熱心な活動を続けています。

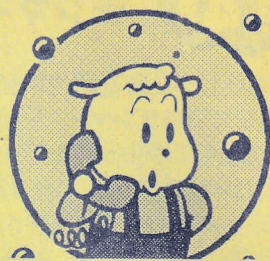
活動は、経済的には決して楽ではないとのことでしたが、動物も同じ命なんだ、あたりまえのことをしているんだという信念が、穏やかな口調からしっかりと伝わってきました。

(ボラナビスタッフ 鈴木優子)

アニマルライツセンター E-mail: arc_t@muc.biglobe.ne.jp

ホームページ: <http://www02.so-net.ne.jp/~arcj/index.htm>

知識や経験を ボランティア活動に 生かしてみませんか



企業OBなどシニアの方々が、仕事で培った知識や経験を様々なボランティア活動に役立てることができます。活動も個人、またはグループで活動する方法があります。

ボランティアセンターでは、ボランティア活動をしてみたいシニアの方々のために、ボランティア活動についての情報提供や相談活動を行っていますので、ご利用下さい。

ボランティア活動のいろいろ

①家庭で

使用済み切手、プリペイドカード、アルミ缶などの収集、物品・金銭支援、手作り小物などの製作プレゼント、電話による話し相手、点訳、ホームステイ等

④職場で

収集活動、募金、物品支援、職場での交流活動、文化・スポーツ施設の開放等

②地域で

訪問、弁当の宅配、買い物、通院介助、清掃、各種イベント等の手伝い、除雪等

⑤広域で

救援募金、救援物資の支援、観光案内、車いす介助等

③施設で

入所者との話し相手、遊び相手、配膳、洗濯、シーツの交換、クラブ活動・行事のお手伝い、趣味・特技をいかした技術指導等



相談やお問い合わせは、電話・FAX・電子メール・手紙・来所、いずれの方法でも構いません。

<相談・お問い合わせ先>

社会福祉法人 北海道社会福祉協議会 ボランティアセンター

北海道高齢者ボランティア活動相談事業実行委員会 担当：セカンドライフクリエイター

〒060-0002 札幌市中央区北2条西7丁目 かでる2.7内 北海道立社会福祉総合センター2F

TEL/FAX：011-281-0590 E-mail：VC01000@em.shakyo.wamnet.wam.go.jp

ホームページアドレス：http://www.dosyakyo.or.jp/hokkaido-vc/

ボラナビの主な配付先

ボラナビは毎月25日に発行し、各所で無料配布しています。
(問い合わせの多い大通り、札幌駅近辺のいくつかには住所も書いています)

●札幌市内と近郊の大学・専門学校●

大谷短期大学、札幌医科大学(本屋)、北海道浅井学園大学、札幌学院大学(江別BBS)、札幌国際大学、天使女子短期大学、藤女子大学、北海道文教短期大学、北星学園大学、北海学園大学、北海道医療大学、札幌福祉専門学校、北海道芸術デザイン専門学校、北海道医薬専門学校、北海道大学、北海道教育大学、小樽商科大学、札幌大学、酪農学園大学

●スーパー●

北雄ラッキー、スーパーJ O Y、札幌東急ストア、ホクレンショップ・ホクレンディスカウントショップ、コープさっぽろ、SEIYU、マイカルSATY、ラルズ系スーパー、マックスバリュ<以上のスーパーの市内全店>、札幌フードセンター(平岸、元町、澄川、北、新道、篠路、豊平、琴似、菊水、森林公園、カスタムー東苗穂、月寒中央)

●書店●

文教堂 本の店 岩本 市内全店、紀伊国屋書店 市内全店と小樽店、くすみ書房、ダイヤ書房(北25東8、発寒14条3丁目、川沿1条1丁目)、ピヴォブックセンター(南2西4ピヴォ6階)

●レンタルビデオ店●

T O W A・フォレストージ 市内全店、T S U T A Y A(北14東6、北3西28)

●CD店●

VIRGIN MEGA STORE(南1西3ラ・ガレリア地下1階)

●映画館●

松竹、S Y遊楽、札幌劇場、シアターキノ、東宝公衆、東映劇場

●銀行●

札幌信用金庫 札幌市内と近郊全店、北海道銀行 札幌市内と近郊全店

●病院●

手稲溪仁会病院、北海道循環器病院、市立札幌病院

●飲食店●

可否茶館 市内7店舗、サンローゼ、サッポロ珈琲館

●その他●

北海道環境サポートセンター(北7西5)、朝日カルチャーセンター(北2西1)、札幌国際プラザ(北1西3)、北海道電力(株) 市内全営業窓口、琴似日食コンカリーニョ、道新文化センター(大通り西3)、ライラックパセオ、J T インフォプラザ(南2西3)、さっぽろ村コミュニティ工房、JR琴似駅、JR新札幌駅

●市内公的施設●

70カ所(区役所、図書館、地区センター、市民活動プラザなどに配布をお願いしています)

2月のボラナビの集い

2/16 (金) 18:30~20:30 初心者歓迎!

ゲストスピーカーは、12ページに掲載されている「市民と共に創るホスピスケアの会」さんです。お楽しみに!

予定 3月は10日(土) 13:30~15:30
4月は13日(金) 18:30~20:30

場所:環境サポートセンター

北区北7西5札幌千代田ビル1階 TEL011-707-9025

会費:300円。

ボラナビでは、表紙の絵を募集しています。

応募の方は、ボラナビ倶楽部へB5以上の紙へ描いた絵を郵送してください。紙は折らないようにお願いします。採用の方には、こちらからご連絡いたします。



読者の皆様へ

・ボラナビを定期的に欲しい方、お申込下さい。

ご希望の方は、郵便振込用紙に住所・氏名・電話番号・希望部数、できれば購読期限がされた時の連絡のためのFAXかメールアドレスをお書き添えの上、1500円をボラナビの口座にお振り込みください(口座番号は最終ページにあります)。6カ月間お届けします。複数部数お届けできますので、サークルや学校単位での購読にご利用下さい。

・「月刊ボラナビ」バックナンバーさしあげます。

バックナンバー(古い号)も配送します(創刊号と3、12号は品切れてしまいました)。郵便振込用紙に住所・氏名・電話番号・希望する号と部数をお書き添えの上、ボラナビの口座にお振り込みください(金額は…おまかせします)。

・「月刊ボラナビ」に広告を載せませんか?

ボラナビでは広告の掲載をしています。縦4センチ横13センチで6万円です(版下制作費込み)。「月刊ボラナビ」への協賛の意味が強く、金額は若干高めに設定させて頂いています。企業の方には負担をおかけしますが、このほうが広告の数が限られ、目立ちます!掲載希望の際はご連絡下さい。

※「月刊ボラナビ」は毎月25日に、2万7千部発行しているボランティアと地域活動の情報誌です。札幌市内の大学、書店、スーパー、社会福祉協議会などを中心に、350カ所で無料配布しています。

協賛してくださった方々 (カキク順)

- ・ 北区まちづくり活動コンテスト 様
- ・ 栗山 隆光 様
- ・ 札幌光星学園 様
- ・ 札幌信用金庫 様
- ・ 札幌通運労働組合 様
- ・ 札幌ポプラライオンズクラブ 様
- ・ 城宝 和茂 様
- ・ 進藤 芳彦 様
- ・ 高垣 正計 様
- ・ 株式会社土屋ホーム 様
- ・ 中道リース株式会社 様
- ・ 幡本印刷株式会社 様
- ・ ほくてんぼるねっと 様
- ・ 北門信用金庫まちづくり基金 様
- ・ 北雄ラッキー株式会社 様
- ・ 株式会社ホクレン商事 様
- ・ 株式会社北海道アルバイト情報社 様
- ・ 北海道紙商事株式会社 様
- ・ 北海道振興株式会社 様
- ・ 北海道ビジネスオートメーション株式会社 様
- ・ 北海道ボランティア振興協会 様
- ・ マイクロソフト株式会社 様
- ・ 真屋幹雄 様
- ・ 株式会社リクルート北海道じゃらん 様
- ・ 赤帽北海道事業本部 様
- ・ NPO 越智基金 様

(北海道電力内ボランティアサークル)

協賛協力をお願い

ボラナビの発刊は企業・グループや個人からの500円からの協賛金でまかっています。1万円協賛いただいた社(方)の名前は誌面で紹介させていただいています。継続的なご協賛をお願いします(番号分まとめての振込みも可能です。政治や宗教団体などは、お断りさせていただく場合があります)。

■郵便局口座番号:02700-1-5671

■北洋銀行口座名(普):札幌駅北口支店 0118625 (ご連絡先をボラナビにお伝え下さい。)

■北海道銀行口座番号(普):札幌駅北口支店 0816050 (ご連絡先をボラナビにお伝え下さい。)

■加入者名:ボラナビ倶楽部

情報提供をお願い

ボランティア募集やイベント情報をお待ちしています。主旨と内容、日時、場所と交通、連絡先、その他を明記し、郵送・FAXまたはEメールでお送りください(Eメールだと嬉しい!)。掲載料は無料です。読者の声等への投稿もお待ちしています(発行日ひと月前までをお願いします)。なお、送られた原稿はスペースの関係等により、主旨をそこなわない範囲で書きなおす場合があります。あらかじめご了承ください。

ボラナビ

CLICK!

ホームページアドレス

<http://www.infosnow.ne.jp/~volunavi/>

メールアドレス

volunavi@mb.infosnow.ne.jp

月刊 ボラナビ

■発行:ボラナビ倶楽部

〒001-0011 札幌市北区北11条西4丁目1-29

北海道NPOサポートセンター内(南向き)

FAX専用:011-716-2899 (電話はかかりません)

■発行日:2001年1月25日

■定価:無料

■代表:森田麻美子

■印刷所:幡本印刷株式会社